

2022年9月20日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：【「先延ばし」行動の傾向と概日リズム睡眠・覚醒障害、併存する精神疾患との関連の検討】

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

本研究とは別に既に当院精神科で行っている、アクチグラフを装着し、メラトニン測定、脳波測定等を行う研究（「メラトニンリズム非後退型の睡眠・覚醒相後退障害の臨床的特徴に関する検討」[2019年11月から2022年9月の間に実施]に参加された健常者の方

2. 研究目的・方法・研究期間

今回の研究で対象となる睡眠障害は、「概日リズム睡眠・覚醒障害」といい、体内リズム（概日リズム）を必要な毎日のスケジュールにあわせることが出来ず、寝付きの悪さ、朝の起きづらさ、日中眠気や様々な心身の症状を生じるものです。思春期・青年期の方に多く、登校や出勤などが難しくなるなど、深刻な社会不適應を生じることがあります。本研究ではその概日リズム・覚醒障害及び併存する精神疾患と先延ばし行動（必要に迫られた行動しか行わないという行動特性）の傾向との関連性についての研究です。

この研究では、概日リズム睡眠・覚醒障害の方と健常者の方に睡眠を調べる検査やアンケートを行い、先延ばし行動の傾向と概日リズム・覚醒障害、併存する精神疾患との関連について比較検討します。今回の研究によって、健常者との概日リズム睡眠・覚醒障害、併存疾患と先延ばしの関係性が明らかとなれば、未解明な部分の多かった病態への理解につながり、治療の開発にも用いることができる可能性があります。

今回の研究は、アクチグラフという腕時計型の活動記録装置を一週間以上腕に装着し、一晩メラトニンの唾液測定、在宅にて脳波を測定する研究に同意され、すでに参加をされた方を対象として含めます。収集したアクチグラフ、先延ばし行動尺度、抑うつ尺度、朝型・夜型質問紙などの質問紙データ、年齢、性別などの情報を用い、概日リズム睡眠・覚醒障害の病気の人と比較して病気の特徴を抽出することが目的です。研究期間は、倫理審査委員会承認日～2024年03月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢 等

試料：アクチグラフデータ、先延ばし行動尺度、抑うつ尺度、朝型・夜型質問紙などの質問紙データ 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学医学部 精神神経科学講座 教授 岩田 仲生

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

連絡先：藤田医科大学病院精神神経科外来

(担当：竹内正樹、北島剛司)

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話：0562-93-2170